

CO・OP

京都の生協

2012/April/No. 77
京都府生活協同組合連合会

2012国際協同組合年／京都府生活協同組合連合会60周年記念特集



2012年3月17日、京都府生活協同組合連合会役員紹介
(御所西・京都平安ホテル)



京都府生活協同組合連合会・横関武顧問に聞く
「思い出・賀川豊彦さんとの出会い」
聞き手：京都府立大学公共政策学部・上掛利博教授
(京都府生活協同組合連合会理事)
京都府生活協同組合連合会・小林智子会長理事



京都府立大学邦楽部のみなさんによる演奏

2012国際協同組合年記念

京都府生活協同組合連合会

創立60周年記念式典・レセプション



京都商工会議所
奥原恒興 専務理事



日本生活協同組合連合会
浅田克己 会長



京都府
山田啓二 知事



京都府生活協同組合連合会
小林智子 会長理事

3月17日(土)、御所西・京都平安ホテルで、2012国際協同組合年を記念するとともに、京都府生活協同組合連合会創立60周年を記念しての式典・レセプションを開催しました。

第1部記念式典の開会にあたり、小林智子会長理事があいさつをのべました。

来賓として、京都府・山田啓二知事、日本生活協同組合連合会・浅田克己会長から、ご祝辞をいただきました。

賀川記念館・賀川督明館長から「賀川豊彦と協同組合」と題して、記念講演をいただきました。つづいて、京都府生活協同組合連合会・横関武顧問から「思い出・賀川豊彦さんとの出会い」が語られました。

第2部レセプションでは、京都商工会議所・奥原恒興専務理事から乾杯のご発声をいただきました。

地元選出の国会議員のみならず、はじめ、府議会議員、市会議員、行政、協同組合、地域諸団体、報道関係、学者・研究者、近隣生協の方がたから130人にご出席をいただきました。

さいごに中森一朗副会長理事が閉会のあいさつをのべました。

ひまわり

京都府生活協同組合連合会
会長理事 小林 智子

京都府生活協同組合連合会は1951年6月25日に創立され、このたび創立60周年をむかえました。

当時は戦後復興から高度成長へと日本が大きく転換しはじめる時期でありました。それから今日まで、さまざまな社会の変化をへて、京都における生協の連合会として、大きな節目をむかえることができましたことを、たいへんうれしく思っております。創立60周年をむかえるにあたり、これまでご指導・ご支援いただいた多くのみなさまがたに感謝と御礼を申し上げます。

現在、地域・大学・医療・職域・共済の19の会員生協が、それぞれの分野で旺盛に事業を展開し、全体では、組合員数のべ70万人、総事業高1100億円の規模となり、京都の消費者のくらしや健康をささえています。

この間、京都府生協連の重要な課題として、国や地方自治体における食の安全・消費者施策、あるいは災害対策、平和・環境活動などに積極的に取り組んでまいりました。いずれも大きな前進があり、京都の生協の中央会的組織として、そして府内最大の消費者組織として、役割をはたすことができたのではないかと考えております。

昨年発生した東日本大震災では、人と人のつながりや協同することの価値が再認識されました。また、2012年は国際協同組合年でもあり、あらためて協同組合の使命について考える機会にしたいかねばなりません。

創立60周年を契機に、さらに地域のみなさまがたのつながりをつよめ、協同のよりよい社会づくりをめざす決意をあらたにしております。ひきつづきのご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

お祝い

京都府知事 山田 啓一

この度、京都府生活協同組合連合会が創立60周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

貴連合会は昭和26年の創立以来、府内生協の連携や円滑な事業推進のため御尽力され、その発展に大きな役割を果たされてきました。貴連合会会員生協の組合員は70万人を数え、生協の事業活動は、生活用品の供給をはじめ、医療、福祉、共済など様々な分野に広がり、府民の暮らしの向上に大きな役割を果たしていただいております。

また、貴連合会は食の安全をはじめ、環境、災害対策、消費者問題などの課題に行政機関とも連携しながら積極的に取り組まれるなど、府民生活の安心・安全に多大の貢献をいただいております。長年にわたる御活動に深く敬意と感謝を表する次第です。

昨年は、東日本大震災という未曾有の災害を経験し、現在もなお復旧・復興に向けて懸命の努力が行われているところです。改めて、亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、被災者の皆様にお見舞いを申し上げます。

今年に入りまして、電力需給の逼迫をはじめ、欧州諸国の経済情勢の悪化等に伴う記録的な円高や長引く雇用情勢の悪化など、厳しい状況が続く中であって、今こそ行政と府民の皆様がさらに連携・協働して、直面する課題にしっかりと対応していかなばなりません。京都府では「だれもがしあわせを実現できる希望の京都」を実現するため、防災対策を始め、社会基盤の整備や産業の競争力強化など、地域発展の基盤づくりを進めるとともに、環境問題などの社会的課題に立ち向かうため全力を挙げて取り組んでいるところですが、貴連合会におかれましては、みんなが安心して暮らし、互いを尊重して支え合い、魅力にあふれた京都づくりを進めるため、より一層のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

結びに、創立60周年を契機として、貴連合会が益々の御発展を遂げられますとともに、組合員の皆様方の御活躍、御健勝を心より祈念いたします。お祝いの言葉といたします。

お祝い

日本生活協同組合連合会会長 浅田 克己

京都府生活協同組合連合会が創立60周年を迎えられましたことに、全国の生協の仲間を代表して心よりお祝い申し上げます。創立以来、京都府生活協同組合連合会と会員生協組合員、役職員の皆様、府民のくらしの改善、向上のために多大な努力と実績を積み重ねてこられましたことに深く敬意を表する次第でございます。

昨年の東日本大震災、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により被災されたすべての方々からお見舞いを申し上げます。また、京都府生協連と会員生協の皆様から多くの支援をいただきました事に、重ねて感謝申し上げます。今後とも復興支援を続け、現地の実態を広く社会に伝えることが協同組合としての役割であると考えます。

現在、京都府生協連の加盟会員数は19生協で組合員数は70万人を超えており、今や地域社会が直面する問題はすなわち生協が取り組む課題であるところである必要があります。消費者・組合員による透明性のある運営を基礎とし、生活をとりまく課題へ生協が挑戦することは、社会的な期待であり責任と考えます。

大きな転換期を迎える今、全国の生協と日本生協連は2020年ビジョンとして「人と人がつながり、笑顔があふれ、信頼が広がる新しい社会の実現」を目標に掲げました。国際協同組合年を契機として生協の協同と連帯の精神を力強く発揮し、ご一緒にこの目標に向かって進んでまいりたいと思っております。

京都府生活協同組合連合会と会員の皆様がこの60年の歩みの上に、今後さらにご活躍されますよう、全国の生協とともに心より祈念申し上げます。



C/O/N/T/E/N/T/S

2012国際協同組合年記念／京都府生活協同組合連合会	～平和の取組み、協同組合などとの連携・交流、広報活動をすすめる課題	●きょうの食育みんなの交流会	14
創立60周年記念式典・レセプション	年表	●きょうと食の安心・安全フォーラム	14
みなさまから、お祝いのスピーチをいただきました	2012年京都府生協連 新春交歓会開催	●京都消費者問題セミナー	15
記念講演「賀川豊彦と協同組合」	TOPICS	●食と農のひろば	15
すすめてきたこと	●近畿農政局と近畿地区生協府県連協議会との意見交換会	●きょうと食の安心・安全意見交換会	15
～食品安全の社会システム形成と食育活動の推進をつうじて、地域住民の安心と健康づくりに貢献する課題	●京都環境フェスティバル	●2011年度臨時総会開催	15
～消費者施策の充実をもとめ、「消費者市民社会」の実現をめざす課題	●京都発！食とみどりのサイエンスNOW	●マスコミ関係者と京都府協同組合連絡協議会との意見交換会	15
～広域防災協力体制づくり・環境保全活動をつうじて、持続可能な社会を実現する課題	●きょうの食まなび塾	おもな行事のお知らせ	16
	「生産現場をのぞいてみよう」	探訪 賀川記念館	16

みなさまから、お祝いのスピーチをいただきました

(順不同・役職は2012年3月17日現在)



新党さつな
豊田潤多郎 衆議院議員



民主党
福山哲郎 参議院議員



民主党
平 智之 衆議院議員



民主党
泉ケンタ 衆議院議員



京都府中小企業団体中央会
渡邊隆夫 会長



京都府農業協同組合中央会
中川泰宏 会長



国民生活センター
野々山宏 理事長



農林水産省近畿農政局
小栗邦夫 局長



京都労働者福祉協議会
細田一三 会長



(社)京都府食品産業協会
山本隆英 会長

祝電・メッセージをいただいた方がた

(敬称略・順不同)

民主党 衆議院議員	小原 舞
民主党 衆議院議員	前原 誠 司
民主党 衆議院議員	山井 和 則
民主党 参議院議員	松井 孝 治
自由民主党 参議院議員	二之湯 さとし
公明党 衆議院議員	池坊 保 子
日本共産党 衆議院議員	こくた 恵 二
日本共産党 参議院議員	井上 さとし
新党さつな 衆議院議員	豊田 潤多郎
京都市長	門川 大 作
京都府議会 京都創生フォーラム 代表	岡本 忠 蔵
京都府漁業協同組合連合会 代表理事長	佐々木 新一郎
京都中小企業家同友会 代表理事	岩島 伸 二
愛知県生活協同組合連合会 会長理事	服部 正 雄
富山県生活協同組合連合会 会長理事	松浦 均
石川県生活協同組合連合会 会長理事	横山 和 男
福井県生活協同組合連合会 会長理事	藤川 武 夫

代理出席いただいた方がた (敬称略・順不同)

民主党 衆議院議員	北 神 けいろ	秘書：仁戸田章一
民主党 衆議院議員	山井 和 則	秘書：田中良典
民主党 参議院議員	松井 孝 治	秘書：木元俊大
日本共産党 衆議院議員	こくた 恵 二	秘書：神原郁己

ご出席いただいた京都府議会議員・京都市会議員の方がた (敬称略・順不同)

日本共産党 京都府議会議員	前 窪 義由紀
日本共産党 京都府議会議員	西 脇 郁 子
日本共産党 京都市会議員	山 中 渡
公明党 京都市会議員	井 上 のり子
公明党 京都市会議員	津 田 早 苗

「賀川豊彦と協同組合」

賀川記念館 賀川督明館長

講演に立った賀川督明館長は、賀川豊彦のお孫さんにあたります。賀川豊彦の生涯をかいた活動をていねいにふりかえりながら、国際協同組合年にあたり、あらためて賀川の思想から学ぶべきものについて、お話をいただきました。



賀川記念館 賀川督明 館長

賀川豊彦は、1909年、神戸のスラム街に入り、救貧・防貧活動を開始しました。その活動は、教育・医療・給食・宿泊・相談・職業紹介など、多方面におよびました。

1918年、米国での神学研究を終えて帰国したのちは、

労働運動・農民運動にたずさわり、1920年日本最初の消費組合である共益社を、翌年には神戸購買組合・灘購買組合を設立しました。

賀川豊彦とその仲間たちの活動は、神戸にとどまらず、関東大震災を契機に全国に広がりました。福祉・教育・医療・生産・労働・協同組合・平和・人権・共生という、人間のくらしを支える土台となる課題について、開拓者的な役割をはたしました。

賀川督明館長は、「一人は万人のために、万人は一人のために」という言葉の意味をあらためて考えあいながら、「総合性」という視点、「弱い立場の人びと、痛みをもつ人びと」の立場に立って物事をみていくという視点が重要であるとのべられ、講演を結ばれました。

「思い出・賀川豊彦さんのまなこ」

京都府生活協同組合連合会

横関 武 顧問

横関顧問は「生まれつき視力がほとんどなく、軍国主義の世の中で兵隊になれない障害者は人間扱いされないかった」「戦後、みずからの生き方に悩んでいた青年期に賀川さんに出会った」と、冒頭のべました。

賀川豊彦からすすめられて同志社大学神学部に入學、「賀川さんから、労働運動・農民運動・福祉運動、なかでも生



京都府生協連 横関武 顧問

協運動について熱をこめて教えていただいた」。

「賀川さんは、私が牧師になることをのぞんでおられたが、キリスト教の勉強だけでなく、当時は社会福祉にかなる勉強や運動に心をひかれていた」。「賀川さんは『それなら神戸生協を紹介するから、その方面で働いてくれ』といわれたことが、私の生協人生のスタートになった」。「平和とよりよき生活のため」というスローガンを知り、感動し、賛同した」と話されました。



京都府立大学公共政策学部・上掛利博教授（京都府生協連理事）、小林智子会長理事が聞き手役をつとめました。

横関 武さんのプロフィール
1929年生まれ。1954年同志社大学卒業、神戸生協（現コープこうべ）入協。以降、同志社大学生協専務理事、京都生協理事長、京都府生協連副会長理事、日本生協連副会長理事などを歴任。



当日は、京都府立大学邦楽部のみなさんがお祝いの演奏をしてくださいました。



やあ、おひさしぶりですね。



第1部・記念式典の司会は、京都府生協連・沼澤明夫常任理事が担当しました。
第2部・レセプションの司会は、京都府生協連・廣瀬佳代常任理事が担当しました。



いつも、お世話になっております。

すすめてきたこと

食品安全の社会システム形成と食育活動の推進をつうじて、地域住民の安心と健康づくりに貢献する課題



鳥インフルエンザに負けないゾ！
生産者と消費者の緊急集会(2004年3月)

O・157、ダイオキシン、乳製品による大規模食中毒、BSEなど、食の安全・安心にかかわる問題が統発するなか、全国の生協・会員生協・JAなどととも、京都府生協連は食品衛生法の抜本的な改正をもとめる活動をすすめて、2001年3月地元選出の国会議員をつうじて、46万5620筆の署名を国会に提出しました。

2001年9月、BSE国内発生があり、これをうけて、わが国の食品安全行政は大きく転換し、2003年食品安全基本法が制定されました。



「2003・京都・たべるたいせつ」フォーラム

2004年2月、京都府内で高病原性鳥インフルエンザの発生があり、地域社会に衝撃が走りました。京都府生協連は、当日から京都府・近畿農政局・国・各政党への要請行動をおこなうとともに消費者への情報提供、生産者への支援企画、府内産品の消費回復の取り組みをおこなってきました。

こうした活動をうけて、2005年12月、京都府食の安心・安全推進条例が府議会で採択されました。条例にもとづき、京都府食の安心・安全審議会が設置され、京都府生協連・小林智子会長理事が委員に就任しました。



きょうと食の安心・安全フォーラム(毎年)

その後、年次行動計画の策定、行政と消費者団体との意見交換会の開催、消費者と事業者の交流などがすすんでいます。2004年から開始された京都府・市食品衛生監視指導計画案のパブリック・コメントには、毎年、意見を提出し、つど計画に反映されてきました。2010年3月には、京都市食の安全安心条例が制定されました。

2006年6月、食育基本法が制定されました。京都府生協連は、2002年いらい毎年「たべるたいせつフォーラム」を開催し、農林水産業と食生活・食文化とのつながりをたいせつにする



(社)京都府食品産業協会との提携・親子パンづくり教室(2011年11月)

20年後の「体」「心」「社会」をつくる
食の講座
大学生協寄付講座



大学生協寄付講座
「食と健康」(2007年～)

企画をすすめてきました。京都府では2007年から「食育推進計画」がスタートしました。きょうと食育ネットワークが設立され、行政・農林水産・大学などの関係機関88団体が登録しています。京都府生協連は、幹事団体となっています。

2007年から、大学生協による寄付講座「食と健康」が始まり、企画協力してきました。

すすめてきたこと

消費者施策の充実をもとめ、「消費者市民社会」の実現をめざす課題

食品安全をめぐる問題や消費者契約トラブルなど、いわゆる消費者問題があいついで発生し、泣き寝入りせざるをえない消費者はいぜん少なくない状況です。多重債務をかかえ、生活破たんに直面する消費者も目立っています。

2002年6月、「21世紀型の消費者政策の在り方」にかんする検討がはじまりました。1968年に制定された消費者保護基本法を「全体的・総合的な視点から」見直すというもので、「事業者——行政——消費者」のあいだの関係を大きく転換していくという提起がふくまれていました。



京都市消費生活条例施行記念シンポジウム
(2005年10月)

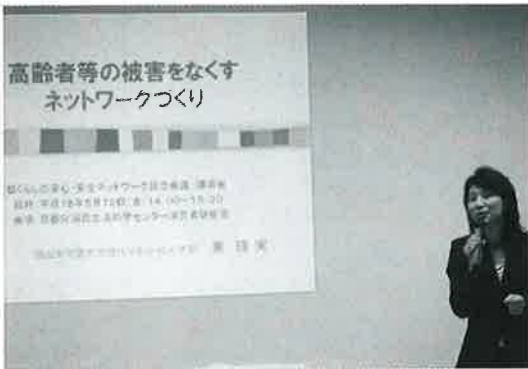


野田聖子・消費者行政推進担当大臣へ要請 [当時]
(2004年10月)

京都府生協連は法改正の重要性をいちはやく指摘し、学習会活動・国会議員等への要請活動をすすめてきました(2006年3月に消費者基本法として制定)。このことが京都市消費生活条例の改正(2005年3月)、京都府消費生活条例の改正(2007年3月)にさいしての積極的な政策提言、消費者団体訴訟制度(2005年5月制定)をになう消費者組織への支援・設立にむすびつきました。

2005年2月、NPO法人・京都消費者契約ネットワークへの加入につ

づき、12月関西地域の生協連・消費者団体等とともにNPO法人・消費者支援機構関西を設立しました。両法人とも内閣総理大臣の認定をうけた適格消費者団体として、活動をすすめています。2009年5月、「国政全体を消費者の目線から見直す」という視点に立った消費者庁関連法案が可決・成立しました。消費者行政を一元化する消費者庁が設立されたことは、消費者団体の長年の願いでした。京都府生協連は、国会会期中に野田聖子・消費者行政推進担当大臣[当時]はじめ各党を訪問し、要請活動をおこないました。



京都くらしの安心・安全ネットワーク設立総会
(2006年5月)



京都消費者問題セミナー(毎年)



集団的消費者被害の回復にむけて

京都府生協連は、京都消費者契約ネットワーク、消費者支援機構関西とともに、地方消費者行政活性化基金の活用に向けての意見交換会の開催、集団的消費者被害救済制度の充実にむけての政策要求などをおこないました。

すすめてきたこと

く広域防災協力体制づくり・環境保全活動をつうじて、持続可能な社会を実現する課題



京都府総合防災訓練(毎年)

1994年1月に発生した阪神淡路大震災にさいしては、生協がはたす社会的な機能が注目されました。京都府内においては、2004年10月の台風23号時に生協が大きな役割をはたしました。

京都府と京都府生協連とのあいだで締結している「災害時における応急対策物資供給等に関する協定書」にもとづき、物資供給支援をおこなったほか、日本生協連・近隣府県生協のご協力をいただき、ボランティア活動・募金活動をすすめました。

2005年5月、京都府ボランティアセンターが設立され、京都府生協連は運営委員団体となりました。



生協より届けられたボランティア活動資材(2004年10月)

2008年10月には、近畿地域2府10県の府県生協連と日本生協連とのあいだで「震災等大規模災害時における応急生活物資等に関する相互支援協定」をむすびました。広域的な災害を想定した図上訓練などを実施してきています。

2011年3月に発生した東日本大震災にさいしては、京都府生協連は会員生協への迅速な情報提供にとつとめたほか、被災地への物資支援等をすすめました。会員生協では、被災地生協の事業再開、物資支援、ボランティア派遣、募金などの活動をおこないました。



日本生協連関西地連・大規模災害図上演習(2010年1月)

環境保全課題については、2003年3月、近隣生協とともに「世界水フォーラム虹のつどい」に取り組んだほか、2002年から京都府漁業協同組合連合会とともに京丹后市太鼓山の「浦島エコローの森づくり」をすすめてきました。

京都府地球温暖化防止活動推進センター(2003年6月)、京都グリーン購入ネットワーク(2004年3月)の設立にくわわったほか、京都市ごみ減量会議、京と地球の共生府民会議、NPO法人気候ネットワークなど、行政・諸団体の委員等をつうじて活動をすすめています。



京都環境フェスティバル(毎年)



浦島エコローの森づくり(毎年)

毎年開催されている京都環境フェスティバルに出席し、会員生協の環境活動を紹介しています。2010年12月には蛍光管リサイクル協会に加入、蛍光管の適正処理をすすめる取組みを促進しています。

2011年5月、京都府省エネ・節電対策連絡調整会議が設置されました。京都府生協連は「くらしの分野」での構成団体となっています。

すすめてきたこと

く平和の取り組み、協同組合などの連携・交流、広報活動をすすめる課題

京都の生協は、1983年から「国民平和行進」に参加しました。6月27日、滋賀県との引継ぎを山科でおこない、6月30日、奈良県へ引継ぎました。この年の「国民平和行進」への生協組合員の参加はのべ800人でした。平和と核廃絶の願いをもちより、広島・長崎での世界大会には200人の組合員とその家族が参加しました。

1985年以降は、「市民平和行進」の取組みとして、地域生協・大学生協・医療生協などと地域団体・平和団体といっしょにすすめてきました。2011年6月のピースパレードには、120人の組合員・役職員が参加しました。



ピースパレード(毎年)



平和・憲法学習会(2004年2月)

憲法問題については、生協法や戦後の生協活動のあらたな出発との関連などをわかりやすく解説したリーフレットを発行しました(2005年、2006年)。2007年には滋賀・奈良・三重県の生協連との協同で『平和をつくるために』を作成しました。第一線で活躍する講師をお招きして、戦後史、原爆症認定、核廃絶の展望、9・11でアメリカ社会はどう変わったかなどのテーマで学習会を開催しました。2009年には、チェルノブイリ原発事故に遭遇したナターシャ・グジーンさんの出演による「平和と音楽のつどい」を会員生協とともに開催しました。



近隣生協連とともに作成した『平和をつくるために』(2007年7月)

京都府農業協同組合中央会・京都府漁業協同組合連合会・京都府森林組合連合会とともに京都府協同組合連絡協議会を構成し、府内の生産・消費などについての情報交換をおこなっているほか、国際協同組合デーを記念する集会、職員体験・交流学校、『協同組合人』の発行などの活動をおこなっています。京都府食品産業協会の京ブランド食品認定・品質保証事業に協力しているほか、食育体験企画を協同ですめています。京都商工会議所、京都労働者福祉協議会、NPO法人京の農産物あんしんネットワークに加入し、ともに活動をすすめています。



国際協同組合デー京都集会(毎年)



京都府協同組合職員体験・交流学校(毎年)

在洛新聞放送編集責任者の方がたとの懇談会を定期開催し、京都の生協についての社会的認知度をたかめる取組みをおこなっています。

行政・議会・各級議員・地域団体などをおもな対象とした対外広報誌『京都の生協』を発行しています。

京都の生協の動き			社会・経済の動き	
1986	2.24 4.28 6.1 9.9 11.1~3 11.1	くらしを守る春の生協組合員集会 京都府生協連第33回総会 「京都の生協」創刊 「大型間接税反対」学習会 「協同組合フェスティバル」 第4次中期計画(86~89)「地域社会の一員としての生協運動 ~80年代後半の課題」決定	4.16 4.26	荒巻禎一京都府知事 チェルノブイリ原発事故
1987	12.1 5.18	京都府生協連設立35周年を記念するつどい 京都府生協連第34回総会	4.1 11.6	国鉄民営化 竹下登内閣
1988	5.16	京都府生協連第35回総会	6.2	日米牛肉・オレンジ交渉、輸入自由化
1989	1.26 5.22	コープ・イン・京都オープン 京都府生協連事務所移転(せいきょう会館から西和ビルへ) 京都府生協連第36回総会	4.1 6.3 8.10 11.9	消費税3%スタート 宇野宗佑内閣 海部俊樹内閣 ベルリンの壁崩壊
1990	5.21 7.7 5.27	京都府生協連第37回総会 第5次中期計画(90~92)「協同組合の基本的価値」に関連して~地 域社会の一員としての生協運動をすすめ、連帯と協同の力で地域に豊 かな暮らしをつくる」を決定 国際協同組合デー京都集会(以降、毎年開催) 京都府生協連第38回総会	1.17 11.5 12.3 5.19 6 8.9	湾岸戦争 宮澤喜一内閣 ソビエト連邦解体 立命館大学「平和ミュージアム」開館 I C A第30回東京大会 細川護国内閣
1992	5.25 12.14	京都府生協連第39回総会 京都府協同組合連絡協議会結成	10	米凶作・緊急輸入
1993	5.10 6.26 5.26 9.22 10.1	京都府生協連第40回総会 くらしと協同の研究所設立 生協平和ゼミナール開催(全6回) 生協エル・コープ設立 京都府生協大会(以降、2010年度まで開催)	4.28 6.30 11.25	羽田孜内閣 村山富市内閣 税制改革関連法案成立・消費税5%
1994	2.23 5.30	やましろ健康医療生協設立 京都府生協連第41回総会 第6次中期計画(94~96)「協同の息づくまち 京都」の実現をめざ して」を決定	1.17	阪神・淡路大震災
1995	2.24 5.29 6.7 6.27	京都府と京都府生協連との懇談会(以降、毎年開催) 京都府生協連第42回総会 京都府役職員研修会(以降、2010年度まで毎年開催) 池坊学園生協設立	1.11 7.15 4.1	橋本龍太郎内閣 病原性大腸菌O-157による健康被害発生 容器包装リサイクル法施行
1996	1.18 3.16 5.27 10.1	京都府生協連事務所移転(西和ビルからせいきょう会館へ) 京都府生協連第43回総会 京都府生協連設立45周年記念・第3回京都府生協大会	11	地球温暖化防止京都会議(COP3)
1997	4.22 6.2	京都府と災害時応急対策物資供給協定締結 京都府生協連第44回総会	7.30	小淵恵三内閣
1998	6.2	京都府生協連第45回総会 第7次中期計画(98~00)「組合員の願いをあつめて 協同の力で 人間らしい京都のまちづくりと健康とくらしの安心に役立つ生協づく り」を決定 近畿農政局と近畿地区生協府県連協議会との意見交換会(以降、毎年開催)	6.23 7.12 4.5 4.1 6.29 4.26 9.11 4.16	男女平等参画基本法制定 新農業法成立 森喜朗内閣 介護保険法施行 雪印乳製品大規模中毒事件 小泉純一郎内閣 アメリカテロ事件、BSE国内発生 山田啓二京都府知事 食品偽装問題続出
1999	6.8	京都府生協連第46回総会 食品衛生法改正をもとめる活動 世界水フォーラム参加企画「虹のつどい」	5.23	食品安全基本法制定
2000	3 3.31 6.6	京都府生協連第47回総会 京都府生協連第48回総会 京都府生協連21世紀ビジョン承認	9.1 8	消費者基本法制定 郵政選挙
2001	6.5	京都府生協連第49回総会 第8次中期計画(02~04)「変化に対応し くらしと地域に安 心を一未来につなげる自己改革を」を決定	5.31 9.26	消費者団体訴訟制度成立、食育基本法制定 安倍晋三内閣
2002	6.4	京都府生協連第50回総会 高病原性鳥インフルエンザ府内発生への対応	9.26	福田康夫内閣
2003	6.10	京都府生協連第51回総会	8 9.24	汚染米問題、アメリカ金融危機 麻生太郎内閣
2004	2 6.8 10	台風23号府内北部被害対応 京都市消費生活条例改定の取組み 京都府生協連第52回総会	9.1 8	消費者庁・消費者委員会発足 鳩山由紀夫内閣 NPT再検討会議 菅直人内閣
2005	3 6.14	京都府生協連第53回総会 京都府食育推進計画づくりの取組み きょうと食の安心・安全フォーラム(以降、毎年開催) 京都府消費生活条例改定の取組み 京都府生協連第54回総会	9.1 9.16 5 6.8 3.11 9.11	消費者庁・消費者委員会発足 鳩山由紀夫内閣 NPT再検討会議 菅直人内閣 東日本大震災・福島第1原発事故 野田佳彦内閣
2006	12 6.13	京都府食の安心・安全推進条例制定の取組み 京都府生協連第53回総会 京都府食育推進計画づくりの取組み	9.1 9.16 5 6.8 3.11 9.11	消費者庁・消費者委員会発足 鳩山由紀夫内閣 NPT再検討会議 菅直人内閣 東日本大震災・福島第1原発事故 野田佳彦内閣
2007	3.15 5 6.12 9.3	生協コープ自然派京都設立 冷凍餃子中毒事件対応 生協エル・コープが生協生活クラブ京都エル・コープに名称変更	8 9.24	汚染米問題、アメリカ金融危機 麻生太郎内閣
2008	1 6 6.10	京都府生協連第55回総会 第10次中期計画(08~10)決定 改正生協法対応~定款・規約等一部変更 12府県大規模災害応急支援物資相互支援協定締結	9.1 9.16 5 6.8 3.11 9.11	消費者庁・消費者委員会発足 鳩山由紀夫内閣 NPT再検討会議 菅直人内閣 東日本大震災・福島第1原発事故 野田佳彦内閣
2009	10.20 5 6.30	京都府生協連第56回総会 京都市食の安全・安心条例制定の取組み 京都府生協連第57回総会	9.1 9.16 5 6.8 3.11 9.11	消費者庁・消費者委員会発足 鳩山由紀夫内閣 NPT再検討会議 菅直人内閣 東日本大震災・福島第1原発事故 野田佳彦内閣
2010	3 6.29	京都府生協連第58回総会 国際協同組合年記念事業準備	9.11	野田佳彦内閣
2011	6.15	京都府生協連設立60周年記念式典		
2012	3.17			

京都の生協の動き		社会・経済の動き	
1946		5.22	吉田茂内閣
1947		4.12	初代公選・木村悳京都府知事
		5.3	日本国憲法施行
1948		3.10	芦田均内閣
		7.3	消費生活協同組合法制定
		10.1	同法施行
		10.15	吉田茂内閣
1949	5.25 京大生協設立	3.7	ドッジ・ライン明示
		8.26	シャウプ勸告
1950	4.25 京都医療生協設立	4.20	蟻川虎三京都府知事
	5.21 京都府生協連第1回設立準備会 (以降第6回設立準備会まで開催)	5	原爆禁止ストックホルム・アピール署名運動
	10.26 京都府生協連設立総会	5.3	レッドパージ
	11.5 京都府生協連設立認可申請	6.25	朝鮮戦争はじまる
1951	5.26 京都府生協連設立認可	3.2	日本生活協同組合連合会(日協改称)設立
	5.26 京都府生協連第1回総会	9.8	サンフランシスコ平和条約調印
	6.25 京都府生協連設立登記完了		
1952	4.12 京都府生協連第2回総会	1.15	日本生活協同組合連合会 I C A への加盟承認
1953	4.11 京都府生協連第3回総会	8.17	労働金庫法公布
1954	5.8 京都府生協連第4回総会	3.1	第5福竜丸ビキニ被爆
		12.10	鳩山一郎内閣
1955	5.14 京都府生協連第5回総会	8.6	第1回原水爆禁止世界大会
1956	5.19 京都府生協連第6回総会 (以降、63年まで運営不正常となり、活動不明)	12.23	石橋湛山内閣
1957	10.5 全京都勤労者共済生協設立	12.24	全国消費者団体連絡会結成
	11.18 同志社生協設立	2.25	岸信介内閣
1958	5.10 京都府立医大生協設立	3.28	全国大学生生活協同組合連合会設立
1959		3.28	安保改定阻止国民会議結成
1960		6.19	新安条約自然承認
		7.19	池田勇人内閣
1961	1 京都ブロック会館発足、大学生協同盟化の第一歩をふみだす	6.12	農業基本法公布
1962	2.15 立命館生協設立		
	11 京都府立医大・京都府立大生協設立	7.16	経済白書「先進国への道」発表
1963	4.21 京都府生協連第11回総会(再建)	5.15	部分的核実験停止条約承認
1964	1 京都労働者福祉協議会に加盟	10.10	東京オリンピック
	7.26 京都府生協連第12回総会	11.9	佐藤栄作内閣
	11.27 洛北生協設立	2.7	アメリカ・ベトナム北爆開始
1965	8.7 京都府生協連第13回総会		
1966	5.10 龍谷大生協設立		
	7.19 京都教育大生協設立		
	9.17 京都府生協連第14回総会		
1967	3.28 京都物産値上反対消費者集会		
	5.23 「京都牛乳値上反対消費者協議会」結成		
1968	2 大学生協会館、高野へ移転	5.3	消費者保護基本法成立
	4 「生協の店」第1号・下鴨店開設	6.11	日大紛争はじまる、全国学国民民主化運動へ
	5.28 京都府生協連第15回総会		
1969	5.17 京都府生協連第16回総会	1.1	東大10項目確認書
	11.5 第1回京都消費者大会(以降、毎年開催)	8.17	「大学の運営に関する臨時措置法」
1970	1.17 「京都消費者センター設置をすすめる会」発足	3.14	万国博覧会
	5.25 京都府生協連第17回総会	5.28~30	日本生活協同組合連合会第20回総会(福島結語)
	5 CO - OP牛乳開始(大山乳業との提携)	6.22	日米安保条約自動延長
1971	4.30 大学生協京都事業連合設立	6.17	「沖縄返還協定」成立
	5.20 京都工織大生協設立	8.15	ドルショック・円変動相場制移行
	7.3 京都府生協連第18回総会		
1972	1.25 京都府庁生協設立	2.3	札幌オリンピック
	2.27 「物産値上げ反対市民大行進」	7.7	田中角栄内閣
	7.3 京都消費者団体連絡協議会結成	9.29	日中国交正常化合意
	8.23 京都府生協連第19回総会		
	11.5 洛南生協設立		
1973	洛北生協、共同購入活動スタート	1.27	ベトナム和平協定
	8.3 京都府生協連第20回総会	9.11	チリ・クーデター
	10.10~11 「生協まつり」の開催	10.1	第1次オイルショック
1974	5 洛北生協が京都生協に名称変更	8.2	食品添加物AF2使用禁止
	9.14 京都府生協連第21回総会	12.9	三木武夫内閣
	10.19~20 「第2回生協まつり」の開催		
1975	7.3 京都府生協連第22回総会	4.3	ベトナム戦争終結
1976	1.26 牛乳問題決起集会	2.4	ロッキード事件
	9.18 京都府生協連第23回総会	12.24	福田赳夫内閣
	10.6 京都商工団体連合会と京都府生協連の「協定書」締結		
1977	7.2 京都府生協連第24回総会	8.3	原水禁統一世界大会
	12.14 京都橋学園生協設立		
1978	3.9 京都府生協連と大山乳業との「覚書」締結	4.16	林田悠紀夫京都府知事
	5 京都生協・洛南生協が合併	12.7	大平正芳内閣
	9.16 京都府生協連第25回総会		
1979	9.27 京都府生協連第26回総会	1.13~14	共通一次試験実施
	10 CO - OP美敦牧場開設	10.2	KDD事件
1980	9.2 京都府生協連第27回総会		
	第3次中期計画(80~84)「基盤をかため、発展の80年代を」を決定	7.17	鈴木善幸内閣
1981	6.17 京都府生協連第28回総会	7.1	臨時行政調査会第1次答申
	7.3 「平和のための京都の戦争展」		
1982	7.1 京都府生協連第29回総会	8.17	老人医療有料化
	9.29 京都消費者団体連絡協議会10周年記念のつどい	11.27	中曽根康弘内閣
1983	6.1 せいきょう会館オープン	4.28	サラ金規制二法成立
	8.3 京都府生協連第30回総会		
	11.5 あみの生協設立		
1984	3.19 健保改悪反対・医師とお母さんのつどい	8.15	臨時教育審議会発足
	7.7 京都府生協連第31回総会	10.1	改正健康保険法施行
	9.9 乙訓医療生協設立		
	10.24 イタリア代表団との交流会		
1985	2.27 「非核京都府宣言」請願署名提出	3.17	科学万博・つくば'85
	3.13 生協規制反対全国集会	8.12	日航機墜落事故
	4.3 京都府生協連第32回総会	9.22	ブラザ合意

2012年京都府生協連

新春交歓会開催



京都商工会議所 中小企業経営
相談センター 西田敏光 所長



京都消費者契約ネットワーク
長野浩三 理事・事務局長



京都府府民生活部
金谷浩志 部長



京都府生協連
小林智子 会長理事



京都府生協連
中森一朗 副会長理事

京都商工会議所中小企業経営相談センター・西田敏光所長による乾杯で、会食・懇談に入りました。行政や議員のみなさんはじめ、126人の方にご出席いただきました。さいごに中森一朗副会長理事が会員生協の役員を紹介し、閉会のあいさつをのべました。

1月7日(土)、コープ・イン・京都で京都府生協連2012年新春交歓会を開催しました。高田艶子理事が司会を担当、小林智子会長理事が開会のあいさつをのべました。来賓として、京都府府民生活部・金谷浩志部長、総理大臣認定適格消費者団体・特定非営利活動法人京都消費者契約ネットワーク・長野浩三理事・事務局長からごあいさつをいただきました。今年も地元選出の国会議員のみなさんはじめ、府議会議員、市議会議員の方がたが多数ご出席くださり、坂本茂事務局長からご紹介をさせていただきますました。



会員生協役員のみなさん

ご出席いただいた国会議員のみなさん

(順不同・役職は2012年1月7日現在)



民主党
松井孝治 参議院議員



民主党
北神けいろう 衆議院議員



民主党
泉ケンタ 衆議院議員



なごやかに歓談



新党さつな
豊田潤多郎 衆議院議員



日本共産党
こくた恵二 衆議院議員

ご出席いただいた 京都府議会議員・京都市議会議員の方がた

(敬称略・順不同)

日本共産党 京都府議会議員	かみね 史 朗
民主・都みらい 京都市議会議員	鈴木 正 穂
民主・都みらい 京都市議会議員	山 本 ひろふみ
日本共産党 京都市議会議員	山 中 渡
日本共産党 京都市議会議員	西 村 善 美
公明党 京都市議会議員	井 上 のり子
公明党 京都市議会議員	津 田 早 苗

祝電・メッセージをいただいた方がた

(敬称略・順不同)

民主党 衆議院議員	泉 ケンタ
民主党 衆議院議員	小 原 舞
民主党 衆議院議員	前 原 誠 司
自由民主党 参議院議員	二之湯 さとし
日本共産党 衆議院議員	こくた 恵 二
日本共産党 参議院議員	井 上 さとし



同志社大学邦楽部のみなさんによる祝賀の演奏

近畿農政局と近畿地区生協府県
連協議会との意見交換会



農林水産省近畿農政局
企画調整室 中山直子 室長

2月1日(水)、せいきょう会館で開催されました。意見交換会が開かれるのは、今年で14回目です。京都府生協連・坂本茂専務補佐・事務局長(兼務)が司会を担当。近畿農政局からは小栗邦夫局長はじめ10人の方が、生協からは近畿5府県の生協連・日本生協連関西地連の役員20人が参加しました。

近畿農政局からの報告者とテーマは以下のとおり。企画調整室・中山直子室長「食料・農業・農村基本計画(食料自給率、戸別所得補償、6次産業化)の進捗状況と『食と農の再生』」、坂田和徳生産部長「放射能と食品安全问题(米の検査の考え方、仕組み等)への対応」。

生協から、各府県ですすめている農業とのかかわりを大切にする活動事例を紹介しました。

京都環境フェスティバル

2011年12月10日(土) 11日(日)、京都府総合見本市会館(パルスプラザ)で、「みんなではじめる KYOからはじめる エコライフ」をテーマに開催されました。

主催は京都府などで、126のNPO法人・学校・企業等が出展しました。京都府生協連は、会員生協の環境活動を紹介しながら、クイズ体験学習などに取り組みました。

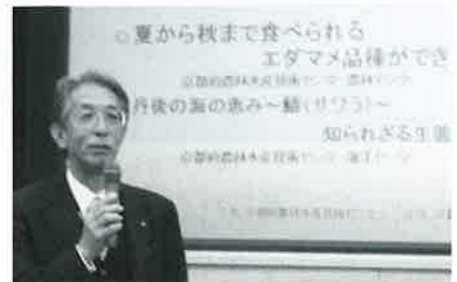


できたかな? クイズ体験学習

京都発!
食とみどりのサイエンスNOW

2011年12月18日(日)、キャンパスプラザで開催されました。主催は京都府農林水産技術センターで、同センターで実施している生活に密着した農林水産研究を多くの府民に知ってもらおうと、企画されたもの。

山下道弘センター長の開会のあいさつにつづいて、「夏から



京都府農林水産技術センター
山下道弘 センター長

秋まで食べられるエダマメ」丹後の海の恵みく鱈(サワラ)」についての報告がありました。

京都府生協連から廣瀬佳代常任理事、坂本茂専務補佐・事務局長(兼務)、川端浩子事務局担当が出席しました。

きょうの食まなび塾
「生産現場をのぞいてみよう」

安全性やおいしさにこだわった京都産の農産物や加工食品について、生産や流通に携わる事業者がその取組みを直接消費者に伝え、安心して消費できるような機会をつくろうと開催されたもので、主催は京都府農林水産部の安心・安全推進課。

第1回は1月14日(土)、ハートピア京都で開催。京都府農業会議・田中大三審議役が「京野菜の歴史と特色」をテーマに講演。京野菜生産者・石割照久氏が生産現場の映像をまじえて

紹介。NPO法人京の農産物あらしんネットワーク・山口珠里検査員が京野菜の流通現場での検査について報告しました。

以降、第2回・丹後コシヒカリ、第3回・宇治茶、第4回・卵、第5回・食べ物と健康をテーマに、のべ300人が受講しました。

きょうの食育みんなの交流会

1月20日(金)、大阪ガス・デイリパ京都で開催されました。さまざまな分野の食育実践者の交流によるあらたな連帯と活動の創出をはかることを目的に開かれたもので、主催はきょうと食育ネットワーク。100人が参加しました。京都府生協連はパネル展示をおこないました。



京都府農林水産部
今西仲雄 部長が開会あいさつ

きょうと食の安心・安全
フォーラム

1月24日(火)、京都府庁職員福利厚生センターで、開催さ



あらたな京野菜ブランドをめざす
JA京都京かんざし研究会 城崎正継氏

れました。主催は、きょうと食の安心・安全フォーラム実行委員会(京都府、JA京都中央会、(社)京都府食品産業協会、コンシューマーズ京都、京都府生協連)。

テーマは「確かな情報知って安心 みんなで築く『食の信頼』」でした。開催されるのは今年で5回目、府民約100人が参加しました。

(社)京都府食品産業協会・山本隆英会長の開会あいさつにつづき、京都府農林水産部の安心・安全推進課・川崎淳司理事が「京都府における食の安心・安全の取組み」について報告。

「きょうと信頼食品登録制度」登録事業者と「京かんざし」野菜生産者による安心・安全の取組みの紹介をうけて、試食と意見交換がおこなわれました。

京都府生協連・小林智子会長理事が閉会あいさつをおこないました。

京都消費者問題セミナー

3月7日(水)、登録会館で開催し、70人が参加しました。京都消費者契約ネットワーク、コンシューマーズ京都、消費者支援機構関西、京都生協、京都府生協連の共催によるもので、テーマは「高齢者ビジネスとその被害PARTII」。投資詐欺や健康食品、振込め詐欺など、高齢者をターゲットとする被害が後をたない現状のもとでのセミナーとなりました。



加藤進一郎 弁護士

加藤進一郎弁護士が「あなたの退職金・年金がねらわれている」だましのテクニクとだまされないテクニク、長野浩三弁護士が「冠婚葬祭ビジネスの落とし穴」互助会積立金を解約すると高額手数料」と題して、講演。

立法化が予定されている集団的消費者被害回復制度についても、理解を深めました。

食と農のひろば



日本消費者連盟 山浦康明 共同代表兼事務局長

2月8日(水)、コープ・イン・京都で、コンシューマーズ京都・京都府生協連共催により開催、55人が参加しました。テーマは「TPPで食の安全はどうなるの？」。

日本消費者連盟・山浦康明共同代表兼事務局長が講演。TPP参加については農業問題だけでなく、多くの領域で問題があると指摘。消費者にとって関心の高い「食の安全」については、農業や食品添加物の使用ルールの変更、遺伝子組換え食品の表示義務の廃止、BSE対策の緩和など、多くのことが危惧されると話されました。

きょうと食の安心・安全意見交換会

2月9日(木)、京都府庁旧館会議室で開催されました。農林水産部食の安心・安全推

進課・津田義郎副課長が「食の安心・安全のための京都府の取組体制」、健康福祉部生活衛生課食品衛生担当・谷尾桂子副課長が「平成23年度京都府食品衛生監視指導計画」「平成24年度同計画(案)」、同・食品衛生担当・大石剛史主任が「食品中の放射線物質の規格基準の設定」について、説明しました。

京都府生協連からは廣瀬佳代常任理事、坂本茂専務補佐・事務局長(兼務)、川端浩子事務局長担当が出席しました。



食の安心・安全推進課 川崎淳司 理事が開会あいさつ

2011年度臨時総会開催

2月21日(火)、せいきょう会館で開催しました。第58回通常総会で決定された2011年度予算に変更の必要が生じたため、臨時に開催されたもの。総会の代議員数は43人で、当日出席は本人出席4人、書面出席37人でした。提案された議案は満場一致で可決されました。

マスコミ関係者と京都府協同組合連絡協議会との意見交換会



NHK京都放送局 井上利丸 局長

2012年が国際協同組合年にあたることから、3月8日(木)、御所西・京都平安ホテルで、京都に本支局を置く新聞・放送編集者と、京都府協同組合連絡協議会(構成・J A京都中央会・京都府漁連・京都府森連・京都府生協連)との意見交換の場として開催されました。

際協同組合年と『協同組合憲章案』について」をテーマに、公益財団法人・生協総合研究所・栗本昭理事が講演。国連での協同組合にかんする議論の経過、協同組合憲章の目的と内容などについて、解説しました。

京都府内の協同組合の活動概況について、各協同組合からそれぞれ報告をおこない、意見交換をおこないました。

急速にすすむ高齢化にたいする協同組合の対応や食育活動、府内における国際協同組合年の取組みなどについて質問がありました。

J A京都中央会・牧克昌専務理事が御礼と閉会のあいさつをのべ、終了しました。

開会にあたり、京都府生協連・小林智子会長理事と、NHK京都放送局・井上利丸局長があいさつをのべました。

つづいて「国

懇談会にご出席いただいたみなさん

※敬称略・順不同

会社名	役職名	氏名
朝日新聞社京都総局	総局長	白倉恒介
NHK京都放送局	局長	井上利丸
NHK京都放送局	放送部長	田島徹
京都新聞社	報道局総務	直野信之
京都放送	報道局長	駒木根徹
共同通信社京都支局	支局長	後藤啓志
産経新聞大阪本社京都総局	総局長	大久保博司
時事通信社京都総局	総局長	常山広隆
日本経済新聞社京都支社	支社長	源関孝
日本経済新聞社京都支社	支局長	瀬崎孝
フジサンケイビジネスアイ京都支局	支局長	小林茂
毎日新聞社京都支局	支局長	小笠原敦子
読売新聞大阪本社京都総局	総局長	佐藤浩

おもな行事のお知らせ

京都府生協連第59回通常総会

日時：6月19日(火)

午後1時30分～5時(予定)

会場：池坊学園洗心館6階

第1会議室(下京区四条
室町鶏鉾町49-1)

ピースパレード

(2012年度ピースアクション京都)

日時：6月21日(木)

会場：祇園石段下から京都市役
所まで

第5回京都の生協活動を豊かに
発展させる協議会(KSK)

日時：7月10日(火)

午後1時30分～午後4時

30分(予定)

会場：せいきょう会館4階第1
会議室

2012年国際協同組合デー

第23回京都集会

日時：7月12日(木)

午後1時00分～午後3時

20分(予定)

会場：キャンパスプラザ

テーマ：「2012国際協同組合
年を記念して・PARTII」



賀川記念館

2012年は国際協同組合年です。神戸市にある、賀川記念館を訪れました。

賀川豊彦は、1909年に日本最大のスラム街だったこの地で伝道活動をはじめました。賀川記念館はその活動開始50年を機に1963年に建てられ、2009年12月献身100年を記念して、現在の建物に建て替えられました。

1909年から1923年までの14年間にわたる賀川豊彦とその仲間たちの働きは、暮らしを支える地域福祉にはじまり、協同運動、平和運動など、多分野で展開されました。その志を引き継ぎ、記念館では、コミュニティセンターとしてさまざまな活動がおこなわれています。

「人の幸せ」を考え、持続可能な社会づくりを模索する研究・調査・プログラム開発のための総合研究所、賀川豊彦を顕彰するミュージアムとアーカイブズ、実践の場としての友愛幼児園、学童保育を担うひまわり学級とラウンジ、これらを支える神戸イエス団



賀川豊彦 1888～1960

スト教会の牧師さんが中心になり、賀川豊彦の精神を引き継ぐと「天国屋」を復活させました。カフェは近所の人たち、神戸大学の学生らがボランティアで手伝い、一日平均20人ほどが訪れるそうです。

今なお、その精神が色濃く引き継がれている、賀川記念館。現在は賀川豊彦のお孫さんである、賀川督明氏が館長をつとめておられます。



- 所在地/〒651-0076 神戸市中央区吾妻通5-2-20
 - 電話/078-221-3627 ●FAX/078-221-0810
 - ホームページ/http://core100.net
 - 開館/10:00～17:00(入館16:30まで)
 - 休館/月曜日(年末年始など臨時休館する場合がございます)
 - 入館料/一般300円 学生100円
- ※団体などの割引については、お問い合わせください

- 会館までの交通
- ・JR・阪急・阪神・地下鉄 三宮から徒歩15分
- ・阪神バス 新生田川下車 徒歩1分

探訪

一人は万人のために
万人は一人のために

賀川記念館
SINCE1909

Tanbou

CO-OP

発行 京都府生活協同組合連合会 〒604-0851 京都市中京区烏丸東丸川東南角 せいきょう会館2階
TEL 075(251)1551 FAX 075(251)1555
URL http://www.kyotofu-seikyoren.com E-mail kyotofu-seikyoren@ma2.seikyounet.jp